



発行
(一社) 沖縄県PTA連合会

〒900-0002
那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-3582
FAX (098) 867-0309

責任者 石川 謙

台風接近の中・・・大分県に8000人集う ～PTA・協育・こどもの未来～

第62回 日本PTA九州ブロック研究大会 おおいた大会

ともにつながらり育てあおう！光り輝き地域の宝のために



日本一の温泉県・大分に台風接近中にもかかわらず、全国各地から8千人がすごい、第62回日本PTA九州ブロック研究大会が開催された。初日の21日には大分県内10会場（中津市・宇佐市・別府市・大分市・臼杵市・佐伯市）にわかれて分科会が行われました。二日目の22日には、ピーコンプラザコンベンションホー

ルにおいて全体会が開かれ、神田岳委氏の「どうぶつと共に生きる」をテーマに講演が行われた。

近年の、情報化・国際化が急速に進展し社会が複雑に多様化する中、子どもたちをとりまく環境が目ぐるしく変化している。このような状況において、保護者として

「自ら学び、考え、思いやり、行動する」等、生き抜く力を子どもたちに教え育んでいくことが大切である。

そこでスローガンを「ともにつながらり育てあおう！光り輝き地域の宝（こどもたち）のために」とした今回のブロック大会は、地域の宝（こどもたち）の未来につながる

大会となったことである。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

「こどもたち」のために

近年の、情報化・国際化が急速に進展し社会が複雑に多様化する中、子どもたちをとりまく環境が目ぐるしく変化している。このような状況において、保護者として

「自ら学び、考え、思いやり、行動する」等、生き抜く力を子どもたちに教え育んでいくことが大切である。

そこでスローガンを「ともにつながらり育てあおう！光り輝き地域の宝（こどもたち）のために」とした今回のブロック大会は、地域の宝（こどもたち）の未来につながる

大会となったことである。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

「こどもたち」のために

近年の、情報化・国際化が急速に進展し社会が複雑に多様化する中、子どもたちをとりまく環境が目ぐるしく変化している。このような状況において、保護者として

「自ら学び、考え、思いやり、行動する」等、生き抜く力を子どもたちに教え育んでいくことが大切である。

そこでスローガンを「ともにつながらり育てあおう！光り輝き地域の宝（こどもたち）のために」とした今回のブロック大会は、地域の宝（こどもたち）の未来につながる

大会となったことである。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

「こどもたち」のために

近年の、情報化・国際化が急速に進展し社会が複雑に多様化する中、子どもたちをとりまく環境が目ぐるしく変化している。このような状況において、保護者として

「自ら学び、考え、思いやり、行動する」等、生き抜く力を子どもたちに教え育んでいくことが大切である。

そこでスローガンを「ともにつながらり育てあおう！光り輝き地域の宝（こどもたち）のために」とした今回のブロック大会は、地域の宝（こどもたち）の未来につながる

大会となったことである。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

「こどもたち」のために

近年の、情報化・国際化が急速に進展し社会が複雑に多様化する中、子どもたちをとりまく環境が目ぐるしく変化している。このような状況において、保護者として

「自ら学び、考え、思いやり、行動する」等、生き抜く力を子どもたちに教え育んでいくことが大切である。

そこでスローガンを「ともにつながらり育てあおう！光り輝き地域の宝（こどもたち）のために」とした今回のブロック大会は、地域の宝（こどもたち）の未来につながる

大会となったことである。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

全体会

宜野湾市PTA連合会
会長 藤波 潔

台風が接近する中、別府市ピーコンプラザで全体会が開催された。

日本文理大学チアリーダーの躍動感に溢れる演技に続き、開会式が挙行された。表彰式では、県内のPTA3校、個人6名に表彰状が、個人6名に表彰状が、県

P前副会長の仲地・長山両氏に感謝状が贈呈された。

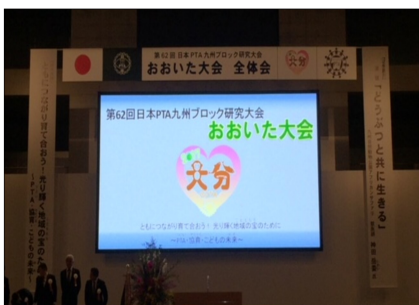
記念講演は、アフリカンサファリの獣医師である神田岳委氏によっておこなわれた。神田氏はス

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。

茶いじ上を移動し、客席とのやり取りを重ねながら、動物との関わりについて話され、その豊かな表情と当意即妙な応答で会場は盛り上がった。



た後、老齢に達し、氏が与える餌しか食べなくなった雌ライオンが、餌を食べられない程病魔に侵されていたのを、自らの解剖によって知ったときの衝撃を寂しそうに語った。

こうした経験により、生命あるものに対してしっかりと語りかけることの大事さを伝えてくれた。他者との向き合い方を考えさせられる素晴らしい講演だった。

第1分科会

沖繩市PTA連合会

副会長 奥間由紀江

【つどいつながる】をテーマにピーコンプラザにてつどいつながり活動するPTAの組織・運営に参加しました。インターネットが普及している今だからこそ、しっかりと顔をみてコミュニケーションをとろうと取り組みフェイスtoフェイスが組織の「和」になれている。会員相互で無理の

ないPTA活動にあえて、「できない家庭は自「申告」をし、調整可能にながら負担軽減をして行くことで連携を図って行く。そうすることで参加率も上がったと発表がありました。

そして、どのように情報共有しているのか・・・というところで会場全体のアンケートで98%はメールやラインでの情報共有が確認され、便利なツールは取り入れている学校が多いことが分かり地域的な差は無いのだと感じました。

時代にあった組織運営を考えなくてはならない時代にきている中、便利ツール



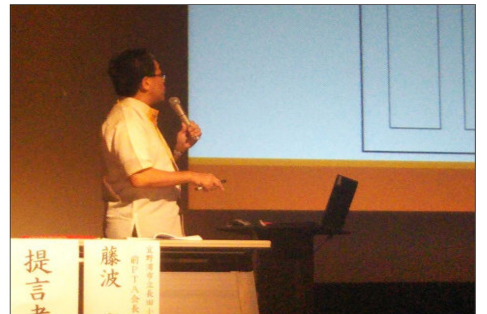
だけに頼るのではなく、今ある運営を活かしての見直しの時期にきているのではないかと感じました。

第3分科会

ゆたか幼小PTA会長 小美野純一

中津市の中津文化会館で開催された研究領域「コミュニティ形成・連携強化・広報活動」の分科会に参加しました。「つどいつながる」を討議題とし、提言者は宜野湾市立長田小学校前PTA会長の藤波潔さんでした。

長田小は平成になってから開校した新しい小学校で、10周年を過ぎたところから開校当初の熱気が冷めてPTA活動が不活発になってきたそうです。その閉塞感を打破すべく「顔の見えるPTA」を掲げ、まずはPTA主催の祭りをを行い、15周年には地域の諸団体とも協力して芸能祭りをす



るなど、PTAの活性化、地域との連携強化を行ってきたそうです。ただ、一方でPTAの活性化に尽力したOB・OGを中心に結成された「ゆたか会」はメンバーが固定されてしまい、新たなOB・OGが加わるのを躊躇しまいがちで、そこがこれからの問題だとしていました。

現在、長田小PTAは地域との連携も取れ、かなりうまくいっているようです。新しく地域に完成した児童館は、公園をはさんで小学校と向き合っており、長田小一公園一児童館が車

道を通ることなく繋がる恵まれた配置になっており、これもうまくPTA活動に利用したいと述べていました。

第8分科会

山田幼小中学校PTA 阿波根博美

佐賀県神埼小学校の提言では、SF青空プロジェクトを通してのPTA活動「絆づくり」としてS（佐賀）F（福島）との東日本大震災の災害にみまわれた子ども達を支援するため、学校、PTAが一丸となり募金活動やベルマーク寄付、原発被害に苦しむ福島の子とも達を佐賀県に招いて交流するなどの活動を5年間続けたことに感銘を受けました。

もうひとつの提言、福岡市女洋中学校「いろんな人が

いて社会」では、今津福祉村が取り上げられました。地域と施設が一体となり福祉のまちを築く7つの福祉施設や病院、特別支援学校が地域に根ざした活動をしていることに触れ、インクルーシブ教育システム構築により障がいのあるものないものが共に学ぶ仕組みの充実、その背景には小、中、特別支援の5校連絡会の存在が大きいことなどが発表されました。その連絡会は、それぞれのPTAの交流、情報交換の場として連携が充実してきて数十年続いていることに連帯感の強さを感じました。



第59回沖縄県PTA研究大会 国頭大会

「育てよう今を！見守ろう今を！すべては子どもたちのために」 ～つながろう つなげよう 緑豊かなやんばるの地で～

1. 日 程

平成30年1月14日（日） 9:00～17:00

2. 会 場：分科会 9:00～

- ・第1分科会 「組織・運営」 名護中学校体育館
- ・第2分科会 「健全育成と地域連携」 金武中学校体育館
- ・第3分科会 「家庭教育」 大宮中学校体育館
- ・第4分科会 「教育問題」 東江小学校体育館
- ・第5分科会 「広報活動」 宜野座小学校体育館
- ・特別分科会1 「シンポジウム 人権」 緑風学園体育館
- ・特別分科会2 「シンポジウム 食育」 がらまんホール
(宜野座村文化センター)

3. 全体会 (13:30～)

- ・全 体 会 . . . 名護市民会館大ホール

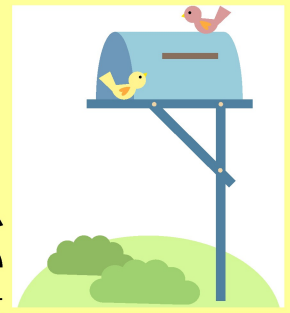
親子ふれあい学校
木もれ陽

本校は、昭和45年に開校し、平成31年に創立50周年を迎えます。石垣市街地に立地し全校児童419名が在籍する小学校です。地域・保護者・教職員が手を取り合い子どもたちに体験活動をプレゼント。そんな思いから始まった本校の「親子ふれあい学校」も11月12日(日)に16回目の開催されました。取り組みの中心は、PTA総務部があたり、各学年PTAが2、3の講座を開きます。今回は「割り箸鉄砲作り、横笛作り、焼き物、かまぼこ作り、シックイシューサー等々」12講座を開設。講師には、保護者や教師、地域の方々が当たり、その年、その年の保護者や先生方のアイディアで面白い体験講座が登場します。毎年のように総務部の皆さんからは、うれしい

悲鳴が聞かれます。それは、全児童保護者を全てのコーナーの漏れなく割り振る作業があり、それを割り振るのに数回の集まりでは中々決まらないところでは、低学年の子は、親の力をかりて作品を仕上げますが、中・高学年の子はほぼ一人で作品を仕上げ閉校式では、満面の笑顔で誇らしげに作品を紹介する子どもの姿を見ることができ、PTA役員も最高の喜びを感じています。普段、中々顔を合わせる機会がない保護者ともお会いでき、最高の一日となりました。体験活動の少ない今日、親子での活動を通して親子の木綱を深める事ができる新川小ならではの最高のPTA活動です。

石垣市立新川小学校
校長 佐事 安弘

我が家の子育て



こんにちは、中頭地区PTA連合会会長の濱比嘉です。

いきなりの我が家の子育てという題材を頂きました。

改めて聞かれると、あれ～、そんな思いを持って子育てやってきたかな～というような感覚でした。

よくよく思い出してみますと長女が生まれた時に、当時勤めていた会社の社長から「モンテッソーリの育児教育 ママ、ひとりでするのを手伝ってね！ -相良敦子（著）」という本を頂きました。

とても尊敬する社長から頂いた本なので、すぐに読み、よし、これを指標に子育てをしようと思いました。

さてさて、どのような中身なのかなAmazonの内容紹介では、子どもがもつ大きな可能性をひき出し、自主性や他人への思いやりをはぐくむために、親はどうすればよいかを、豊富な実例で分かりやすく説明します。「なるほど、そうか」と思われるにちがいません。

となっています。

だいぶ前に読んでうろ覚えではあるのですが、本の中のイモムシの話です。

親は卵が飛ばされないように枝のまたの所に卵

を産み、生まれたイモムシの感覚で鋭くなっているのは視力で、明るい太陽が照らしているところを目指していきます。

そこに柔らかい新芽が出ていて、生まれたたのイモムシでも食べられるのです。

このように人間の子どもも、その時々で発達するものがある、それを手助けするのが大事という感じで書かれていました。

なるほど、子ども自身で今伸ばしていきたい感覚があるのだな、それを手伝えるような子育てをしていこうと考え、行動してきたと思います。

- ・いろいろな事を体験させる
- ・そとで自然に触れさせる

やりたいから周りに迷惑をかけても良いというのではなく、

- ・あいさつをきちんとする
- ・周りに迷惑をかけない

というような我が家の子育て！

参考になりましたら幸いです。

最後まで読んでいただきありがとうございます。

中頭地区PTA連合会

会長 濱比嘉 健

400年の歴史 勢理客の獅子舞 in 浦添市勢理客

獅子舞は旧暦の8月15日に行われる十五夜祭の中で披露される伝統芸能です。勢理客の獅子舞は、他に比べ11種と舞の種類が多く、ダイナミックな足の運びが特徴とされています。じっとしている時の腹部の動きも肉感を感じさせ、ちょっとした見所です。



今年11月3日、首里城祭で披露された勢理客の獅子舞

400年以上、型を変えず継続していること（戦時中を除く）を評価され国選定無形文化財となりました。勢理客獅子舞保存会によって継承されており、旧暦の8月15日が台風で十五夜祭が中止となっても、獅子舞の演舞奉納だけは公民館内で行われるという徹底ぶりです。

広報委員 末吉建作

我が校区の文化・歴史遺産 紹介

理事会報告

第5回理事会

- ・平成29年9月29日（土）県P会館にて開催。
- ・定数・・・26人中 出席（20人）委任（6人）
- ・協議事項
 - ①第68回沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会島尻大会
 - ②第59回沖縄県PTA研究大会国頭大会
 - ③その他
- ・報告事項
 - ①常置委員会より
 - ②日P仙台大会報告
 - ③九Pおおいた大会
 - ④第4回理事会議事録
 - ⑤その他
 - ・県P国頭大会の一次案内について
 - ・県Pホームページの改善と活用について
 - ・学校防犯システム「ツイタもん」について
 - ・子どもゆめ基金について
 - ・三屋裕子講演会について
 - ・ストリートアウト日本大会in沖縄について

第6回理事会

- ・平成29年11月10日（金）県P会館にて開催。
- ・定数・・・26人中 出席（21人）委任（5人）
- ・協議事項
 - ①第68回沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会島尻大会
 - ②第59回沖縄県PTA研究大会国頭大会
 - ③その他
- ・報告事項
 - ①常置委員会より
 - ・総務→県P70周年の取り組み。県P中頭大会を記念大会とする。
 - ・家教→食育の取り組み。2月10日体験学習を行う。
 - ・調研→アンケート実施。「早寝・朝食・テレビゲーム」を小2と保護者を対象に行う。
 - ②九Pおおいた大会
 - ③第5回理事会議事録
 - ④その他



スマホおきなわルールづくり

文部科学省委託事業「ネットモラルキャラバン隊」

参加費
無料

2018年2月25日（日）

会場：嘉手納町中央公民館

定員
140名

<13時30より受付開始>

14時00分 <開会行事>

14時10分～14時30分 <行政説明>

「青少年のスマホやインターネットをめぐる問題に関する取組～安全・安心な利用のために～」
土肥 克己（文部科学省 生涯学習政策局 青少年教育課長）

「ネットを通じた子供の性被害について」

松木 秀彰（警察庁生活安全局少年課少年保護対策室長）

14時30分～16時20分 <ワークショップ>

スマホおきなわルールづくり「みんなで見直そう！スマホやネットの使い方」

○オリエンテーション：小木 曾 健（グリー株式会社 政策企画室・安心安全チームマネジャー）

曾我 邦彦（安心ネットづくり促進協議会 顧問）

○生徒事例発表 ○ワークショップ ○休憩 ○グループ発表 ○講評

16時20分 <閉会行事>

第22回

裏方一番



表裏一体

PTAだけではなく、いろいろな事に裏方仕事はつきものだと思います。裏方がしっかりしていなければ、どんな行事もイベントも仕事もうまくいかないのではないのでしょうか。

私達PTA連合会では様々な行事を行っています。中でも各地区持ち回りの沖縄県PTA研究大会は大きな行事です。

一人一人が責任を持った行動をしないことは運営にも支障をきたしてしまいます。数百

人PTA会員の皆様、心地よく、研究大会に参加してもらうために、また、数百人の裏方が必要なのです。

私達大人が見せる、裏方として、人をおもてなしする心や行動、考え方が子供たちの教育にも必要不可欠ではないでしょうか。

私達は行事ごとだけでなく、子供たちの育てにも時には、表にたって、子供たちを導いたり、また裏方として、子供たちの行動を見守ることもあります。

人生では時には表舞台にたつこともあるでしょう、ですが、裏方を経験せず、いきなり表舞台に立つことはいけません。



宮古地区通信員

伊波 孝子

表裏一体、裏と表は一つという意味ですが、表があるから裏があるではなく、裏があるから表がある、裏方で輝ける人が表舞台でも輝けると私は信じています。

編集後記

2017年も早いもので12月に入り、年末へのカウントダウンが始まりました。寒くなる冬に備え、皆様のご家庭では衣替えは済みませうでしょうか。

さて写真には、季節感のない半袖姿の4人が写っていますが(笑)、記録的な真夏日が続いていた10/10に広報委員全員で撮影した1枚です。私たち広報委員会は、隔月で県P会館に集まって話し合いを行っています。毎号のPTA新聞おきなわ発行に向け、各ページの内容や担当の割振り等もそうですが、委員同士で地域の話など色々情報交換ができる楽しい場となっていますよ。皆さんも私たちと一緒にPTA新聞を作りませんか♪

こんな記事を載せて欲しい、こういった特集を組んでみてはどうかetc、皆さんの意見を取り入れていきたいと思っておりますので、PTA新聞おきなわへ皆さんの声をお寄せ下さい。来年も宜しくお願いします。

広報委員長 外間隆史

- 広報委員：末吉建作 (那覇) 新垣早苗 (中頭)
- 奥間由紀江 (中頭) 外間隆史 (島尻)
- 通信委員：仲間里枝 (国頭) 伊波孝子 (宮古)
- 鬚川美穂 (八重山)



広報委員会

加入してよかった！みんなに勧めよう！

保護者の皆様の強い要望から生まれた
 沖縄県 PTA 連合会推薦の

『小・中学生総合保障制度』

(こども総合保険)



=引受保険会社=

AIU損害保険株式会社 沖縄支店

=保障制度に対してのお問い合わせは=

◆小・中学生総合保障制度事務局◆

(あい保険工房内)

住所 : 〒901-2126 浦添市宮城2-24-2

TEL : 098-878-0025